

真行草

令和元年度
11月発行

第12号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OBOG 係 hamaikyudoobog@gmail.com

毎年1回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp/>

西医体女子第三位!!!



令和元年 8月18日 西日本医科学生総合体育大会

つぎお ちどく たた
関口存男：遅読を讃える

弓道部 師範 佐藤清昭

皆さん、こんにちは。お元気に研鑽を重ねていることと拝察します。私は 71 歳になりましたが、今ほどの内患外憂のご時世を体験したことはありません。しかし思うのは、私たち「年寄りの義務」として、皆さんのような「若い世代」が「未来に対する希望や勇気」を失ってしまうような世の中にしてはいけない、ということなのです。

これまで私たちは、「理系・文系の区別」を当然のものとしてきました。しかしこれからは (interdisciplinary「学際的」よりも広い意味で)「自然科学」と「人文社会科学」とが融合し、「総合的な学問体系」が構築されていかなければなりません。そうでなければ時代の急速な変化に対応していくことが不可能だからです。そこで、一見、皆さんの専門とは関係ないように見えますが、次の関口存男 (1894-1958, 哲学者, ドイツ語学研究者) の文章をご紹介します。何らかのご参考になれば幸いです。

辞典と首っ引きでポツポツ読む外国語には、その遅々たるところに、普通の人の気のつかない値打ちがあります。それは**考える暇**が生ずるということです。否でも応でも我々を**考える人間**にしてくれるということです。

どんなにいいことが書いてあっても、スラスラと読めたのでは、マア大した効果はありません。どんな下らないことが書いてあっても、その数行を繰り返かえし繰り返かえし読まなければならないとなると、それに関係したいろいろな事をついでに考えるから、上滑りして読んでいる際には気のつかないいろいろなことに気がつきます。いわんや、多少「下る」事が書いてある場合には、それを何

度も何度も読みなおしたり、その数行を眺めたまま 5 分も 10 分も考えこんでしまったりするということは、単にそれを書いた人の真意にとどきかけとなるばかりではない、**時とすると原著者の意図しなかったところへまでも考えおよぶ**という効果をとまいません。

なさけないことには、私たち「人間」というやつは、とにかく、考えないように考えないようにできている。上滑りするように上滑りするようにできている。スラスラ読める母国語ばかり読んでいると、うっかりすると、上すべりした、ツルツルした、平坦な人間になってしまう恐れが十分にあります。

... (中略) ...

考える力というものは恐ろしいもので、どんなツルツル平坦な者でも、否で応でも考えないわけにいかないように仕向けられると、長い年月の間には、相当いろいろな事を考えるようになります。いったん考える癖がつくと、時とすると、何かのはずみに、はなはだツルツル平坦者らしくもないことを考えて、自分でビックリすることすら起こってきます。そういうツルツル平坦者が、ひとつ間違うと、文豪になったり、詩人になったり、偉人になったりする。偉人とか何とかいうのは、どうせみな、間違っただけなのですからね。一つ間違ったくらいでは**ならないが、二つ三つ間違うと、偉人とか天才とかいったとんでもないものになってしまう**のです。間違いほどおそろしいものはない。

だから、そんな事になっては大変だと思う人は、あんまりひとつのことをシツコク考えてはいけません。スラスラと、人の書いたとおりに読み、人の考えたとおりに考えておくのが、いちばん安心です。

けれども、なんなら天才になったって構わない、と考える人は、あらゆる機会を利用して、**自己独**

特の考え方を育成しなければなりません。ただし、その自己独特の考え方というやつは、自分ひとりで眼をつぶって考えていたって出てくるものではありません。人生は、**たとえ大根一つ植えるのだって、最初はみんな人真似**なんですから、まず人真似をしなければならない。問題は、どういう風にその人真似をするかです。

他の方面のことは知らないが、思想、文学、その他いやしくも「文」に関係のある方面のことは、**すべて連続が出发点**ではあるまいか、とわたしは語学者らしい妙なことを考えるしだいです。

... (後略) ...

 (語学雑誌 「基礎ドイツ語」 1956 年 11 月号より。
 表現を一部、読みやすく変えてあります)



部内運営は、久松優作主将をはじめ幹部部員の努力で安定していた良い1年であったと思います。来年も、久松主将のもととまって運営を行ってほしいと思います。久松主将は、部員構成の関係で弓道部はじまって以来の2年連続の主将となります。大変でしょうが、彼ならうまくまとめていってくれると思います。最近世間では、ブラック、SNS投稿、炎上、拡散などのキーワードが使われ、私が学生であったころ、研修医になったころと比べ環境がだいぶ変化した印象です。夜中までの仕事、厳しい指導は当たり前、感謝しなければという時代は終わったと感じます。学生はどうか、私にはよくわからないことが多いのですが、先輩後輩の関係、コンパでのお酒の飲み方など社会人になるための準備として世の中の流れに合わせて変わっていかないといけないのだろうと思います。その点は、学生の皆さん自身でよく考えてほしいと思います。

最後になりますが、OB・OGの皆様には、日ごろから弓道部への厚いご支援をいただき大変感謝しております。今後とも、継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

流れ

弓道部部长 三澤清先生 (平成6年度卒)

佐藤清昭前部長から部長を引き継いで6年目になりました。今年の弓道部は、新チームになって東海医歯薬男女準優勝、中部ブロック女子準優勝、東国体女子3位、西医体女子3位など好成績をあげることができました。7年間連続出場していた全医体には参加できませんでしたが、女子のレベルの高さが目立った1年であったと思います。今後も、目先の成績よりも技術の向上を重視し浜松医大の技を後輩に継承していくことを優先してほしいと思います。

今年は、東国体が浜松の弓道場で開催(豊橋技科大主幹)されましたので、見学することができました。西医体は、大阪なんばで週末に行われたため、部長になってはじめて応援に行くことができました。台風の影響で矢付けが中止になり大変だったようですが、2002年の浜松での主幹以来の見学で楽しく応援させてもらいました。

OBOG 会長挨拶

OBOG 会長 丸山哲史先生 (平成8年度卒)

浜松医科大学弓道部 OB・OG 会長の丸山です。紅葉の候、部員の皆さまにおかれましてはますますご繁栄のことと心からお喜び申し上げます。平成の幕開けとともに始まった我々弓道部の歴史もいよいよ令和という新しい時代へと移り変わりました。令和と

いう元号には人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。安倍総理によれば、悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いが込められていると表現されていました。歴史と文化、そして美しさ、私にはまさに弓道の精神そのものと感じられました。現在、医療を取り巻く社会情勢は大変厳しいものとなっています。医療関係者といえどもかつての様に将来が安泰とは言えない状況です。このような逆風の中、皆さんが弓道を通じて培われた強く美しい心をもって素晴らしい花を咲かせることを願っております。

因みに折角ならオンリーワンよりナンバーワンになりたいと思う私は修練が足りないのでしょうか。

新主将挨拶

第 31 代主将 久松優作 (医学科 3 年)

深秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年から引き続き浜松医科大学弓道部第 31 代主将を務めさせていただきます、医学科 3 年の久松優作です。OB・OG の皆様が築き上げてこられた歴史ある部活の主将を務めさせていただくことに、大変身の引き締まる思いです。

今年度は新入部員が医学科 9 名、看護学科 2 名となり、部全体では 61 名となりました。このような大人数で弓道に励み、多くの大会に参加できますのも、ひとえに OB・OG の皆様のご支援のおかげです。この場をお借りして皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、この 1 年は弓道部の伝統を守りつつ、よりよ

い部活にしたいと思いながら主将を務めて参りました。しかし、部活全体を動かすこと、運営を担うことは決して簡単なことではなく、力の無さを感じることも多々ありました。これからの 1 年は、1 年目の反省も踏まえ、部活をまとめていきたいと考えております。

今年の主な試合では、東海医歯薬男子団体・女子団体ともに準優勝、静岡県下夏季大会女子団体優勝、西医体女子団体 3 位などの成績を収めました。思うような成績を残せなかった試合も多くありました。しかし、この 1 年は 3 年生以下の現役生を主力として臨む試合が多く、たくさんの経験・学びを得られたと感じております。来年は OB・OG の皆様に良い試合結果をたくさん報告できますよう稽古に励みたいと思っております。

未熟な点も多く、ご迷惑をお掛けすることも多々あるとは思いますが、変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新主将挨拶とさせていただきます。

前看護科主務挨拶

土屋友洋 (看護学科 3 年)

向寒の候、OB・OG の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。昨年 10 月より 1 年間看護科主務を務めさせていただきました、看護学科 3 年の土屋友洋です。

今年は大会での勝敗や的中を意識しつつも、弓道や部活行事を精一杯楽しみながら、日々の練習に取り組んでまいりました。今年の西看大では、全員がいつもの調子を出し切ることができませんでした。来年度に繋がる有意義なものになったと思います。

次期看護科主務は鎌田夏海が務めます。彼女は誰に対しても人当たりが良く、細かい所にも気を配ることができます。また、弓道の練習にも熱心で、看護学科だけでなく弓道部全体に新風を起こしてくれる存在

だと思えます。

今年も新入生 11 名中 2 名が看護学科であり、全体に対しての看護学科の割合は少なくなりましたが、引退生も含めそれぞれの力を出して弓道部の発展に繋げていきたいと思えますので、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、前看護科主務の挨拶とさせていただきます。

新看護科主務挨拶

鎌田夏海（看護学科 2 年）

心地よい秋風が吹き抜ける秋天の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、深く御礼申し上げます。

9 月より一年間、看護科主務を務めさせていただくこととなりました看護学科 2 年の鎌田夏海と申します。

歴代の先輩方の弓道に対する姿勢や毎日の熱心な練習、試合での功績を身近で拝見させていただく中で、自らの弓道への向き合い方を考えさせられることが多く、尊敬する先輩方に少しでも近づくことができるよう精進したいと日々感じております。今年度は看護学科の一年生を二人迎えることができました。彼女たちがのびのびと弓道をでき、過ごしやすい部活であるよう常に目を配り、環境を整えていきたいと思えます。

今年の西看大では良い成績は残せなかったものの、各々が弓を楽しんで引く事ができ、次へと繋がる良い経験を積むことができたのではないかと思います。来年度に向け、今回の反省点を修正し、チームに貢献できるよう努力してまいります。こういった日々の部活動や大会への参加を充実して行うことができているのは OB・OG の皆様のお力添えのお陰です。心から感謝申し上げます。

微力ながら誠心誠意、部活を支えていけるよう努力してまいります。何かと至らぬ点も多いかとは思いますが、OB・OG の皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくをお願いいたします。

末筆ながら、皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます、看護科主務の挨拶とさせていただきます。

OB・OG の方々からご寄稿を頂きました！

静岡済生会総合病院

杉浦琢也先生（平成 30 年度卒）

深秋の候、OB・OG の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。今年から静岡済生会総合病院で勤めております、研修医 1 年目の杉浦琢也です。卒後半年が経ち、少しずつ仕事にも慣れてきましたが、日々、自分の至らなさを痛感し、学び続けることの重要性を感じております。この度寄稿の機会をいただき、弓道部で過ごしてきた時間を思い出して、懐かしい気持ちです。

ホームページなどで在校生の皆様が活躍されているのを拝見するたびに、喜ばしくまた誇らしい気持ちにさせていただいております。試合結果ももちろんですが、部員の皆さんが日々楽しく過ごしている様子を垣間見ることができるだけで、OB の一員としてとてもうれしく思います。この間は、私の勤めている病院に後輩たちが見学に来てくれました。こうした際に、弓道部というつながりがあってよかったと実感します。

今年度は 11 名の新入生の方を迎えることができました。新入生の皆さんもきっと弓道部の雰囲気や学年を超えた仲の良さをよいと思って入部してくれたことでしょう。今後ますます、弓道部を盛り上げてくれることを祈っています。

これからも、ささやかではありますが OB・OG の一員として浜松医科大学弓道部に貢献できればと思います。末筆ではございますが、皆様の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

磐田市立総合病院

川島大喜先生（平成 30 年度卒）

深秋の候、OB・OGの皆様、ならびに在校生の皆様に
おかれましては、ご健勝にお越しのこととお慶び申
し上げます。平成 30 年度卒、磐田市立総合病院研修
医一年目の川島大喜と申します。今回、僭越ながら寄
稿文を掲載させていただく機会に恵まれたことを大
変喜ばしく思っております。

四月から社会人になり、医師として働くことができ
ている喜びを感じる一方で環境の変化や責任の重さ
に苦しみながら、多くの方々に支えていただいて日々
精進している次第です。楽しいことばかりではありま
せんので、卒業してから何度か弓道部に足を運んだ際、
在校生の皆様が変わらず楽しそうにしている様子
を見て、元気を頂いて励みにしております。

私は別の大学を卒業してから浜医に came したので、
とくに入学当初は楽しい大学生活を送れるか不安で
したが、このような私を熱心に勧誘して下さった弓
道部に入部させていただきました。皆様ご承知のよう
に、弓道部の美点の一つにいろいろな人を受け入れる
点がありまして、私は良く接して下さる諸先輩方や
同学、後輩に恵まれ、とても幸せな六年間を過ごす
ことができました。これも、これまで弓道部をつくりあ
げて下さった皆様あつてのことであり、衷心より感
謝申し上げます。

憚りながら思いますのは、部員への援助を拡大して
いく必要があるということです。部員の中には、経済
的な理由で弓道に十分な時間を割くことができない
者もいます。遠征費などの負担を軽減し、より多くの
部員が弓道に集中することのできる環境をつくるこ
とは浜松医科大学弓道部のさらなる発展に寄与する
ことと存じます。

末筆ではありますが、皆様のさらなるご活躍を心よ
りお祈り申し上げます。

浜松医科大学医学部附属病院

大畑美月様（平成 30 年度卒）

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこと
とお慶び申し上げます。平成 30 年度看護学科卒業生
の大畑美月です。私は現在、浜松医科大学附属病院の
心臓血管外科・呼吸器外科・一般外科・乳腺外科・リ
ハビリテーション科で看護師一年目として働いてい
ます。入職して半年が経ち、学ぶことの多さに圧倒さ
れながらも先輩方に支えられてなんとか仕事をして
います。忙しい毎日ですが患者さんとの関わりの中で
やりがいや楽しみを感じ、充実した日々を過ごしてい
ます。

今年の西医体・西看大はどちらも大阪での開催とい
うことで応援に行かせていただきました。卒業してか
らは弓道をする機会がほとんどなくなってしまいま
したが、皆さんが真剣に練習や指導をする姿を見て自
分も部活に打ち込んでいた日々を思い出し、久しぶり
に弓を引いてみたくなりました。新入部員の皆さんも
上級生から指導を受け、大きく伸び伸びと弓を引いて
いてこれからの活躍がとても楽しみです。学年を超え
た仲の良さがある弓道部で楽しい思い出をたくさん
作って欲しいと思います。弓道部が更に盛り上がるこ
とを期待して、これからも応援しています。

今年度も OB・OG の方々からご寄稿を賜
りました。お忙しい中、誠にありがとうございました
ございました。今年度に引き続き、来年度の会報
誌にもぜひご寄稿のご協力をお願い申し上
げます。

近況報告 (一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。)

振り返るとあっという間の6年間で、楽しいこと、苦労したことが多くあり良い経験になりました。入部した頃と比べると、OB・OGの皆様のおかげで、道具・設備は充実しつつあり、大変感謝しております。今後は私も微力ながらOBOG会お役に立ちたいと存じております。

鷺見健翔(医学科6年)



↑11月 秋のイソップ・竹山杯



↑11月 医大祭

OB・OGの皆様、平素より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。月日の流れというのは早いもので、私が引退するまで残り1年を切りました。現役生の年長者として、これまで先輩方がなさってきたように、後輩に道を示していかねばと日々考えております。引退まで気を抜かず、浜松医科大学弓道部のさらなる発展に貢献すべく、今後も精進してまいります。

梶原陸(医学科3年)



部活を引退してから、1年間が経ちました。ほぼ毎日行っていた道場に時々しか行かなくなりましたが、その際には多くの後輩が明るく声をかけてくれます。このような親しみのある場をつくり、継承してくださったOB・OGの皆様にとっても感謝しております。先輩方を見習い、過ごしやすい場を維持していけるよう精進したいと思います。

末谷翠星(医学科5年)



↑11月 しゃちほこ杯

←11月 東海医歯薬



↑12月 グラスカップ

6年生となり、学生として過ごす時間も残りわずかとなりました。下級生が試合で活躍し、部活を盛り上げていることに頼もしさを感じております。多くの先輩や後輩、同級生に支えられて過ごした6年間に感謝し、卒業後はOGとして弓道部の発展を見守り支えていきたいと思っております。

上利裕子（医学科6年）

弓道部に入部して1年半が経ちました。今年は新たに11人の1年生が入部して、先輩としてやるべきことを日々模索しています。たくさんの先輩と後輩に恵まれ、浜松医科大学弓道部の一員として充実した毎日を送れているのは、OB・OGの方々のご支援のおかげだと感じています。私も、先輩方や、OB・OGの方々のように弓道部に貢献できるよう精進してまいります。

服部柚子(医学科2年)



↑1月 三十三間堂



↑12月 冬のうなぎ杯

引退してから1年が経ち、大学生活の中で弓道部という存在がどれほど大きなものになっていたのか改めて実感しています。今後も引退生として、OB・OGの方々に教えていただいたことを後輩に受け継いでいきたいと思っております。

川崎七海（医学科5年）

カリキュラムの変更に伴い、先日、例年より一足早く引退生になりました。OB・OGの皆さまのご支援をうけ、思う存分活動に励む現役時代を過ごすことができました。本当に感謝しております。

副将として経験したことや感じた感情はかけがえのないものであると共に、将来の大きな糧になることと思います。多くの人に支えていただき、弓道部での出会いに感謝する毎日でした。

今後は引退生として、先輩方の教えや弓道部の雰囲気の後輩に引き継いでいけるよう精進してまいります。

山口藍(医学科4年)



↑3月 メモリーカップ



↑3月 追い出しコンパ

弓道部に入部して早くも一年半が経ちました。後輩を引っ張っていく立場になり、今まで部活を盛り上げて下さった先輩方の偉大さを痛感するとともに、自分自身、より真剣に弓道と向き合っていかなばと決意を新たにす次第です。OB・OGの方々から受け継がれた浜医弓道部の素晴らしい伝統をより発展させていけるよう日々精進してまいります。

栗田幸太郎(医学科2年)



↑3月 合宿



↑3月 卒業式



←4月 春のイソップ・竹山杯

弓道部に入部して早くも2年半が経ち、引退生となりました。とてもよい環境に恵まれ、楽しい時間を過ごすことができました。これまで支えてくださった先輩や後輩や仲間は一生の宝物です。この弓道部を創り上げてきたOB・OGの方々への感謝の気持ちを忘れずに、現役生を支えていきたいと思ひます。

小永井桃(看護学科3年)



↑5月 新歓遠足



↑6月 夏のうなぎ杯

入部してから半年が経ちましたが、毎日楽しい弓道生活を送ることができ、とても幸せです。今は少しでも大会で活躍できるよう、練習に励んでおります。それも、先輩方の優しく丁寧なご指導と、OB・OGの皆さまのご支援のおかげです。これからも、尊敬している先輩方に少しでも近づくべく、日々努力を重ねていきたいと思ひます。

一ノ宮未来(医学科1年)



↑7月 夏季県下

春には、医学科6人、看護科6人の先輩方がご卒業され、新たに医学科9人、看護科2人の新入生を迎えました。

PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるようにいたしました。

是非ご覧ください。

<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp/>から
[アイテム]→[会報誌]にてご覧になれます。



↑7月 BBQ

私たち一年生が弓道部に入ってから半年が経ちました。入った頃は弓道の経験もなく右も左も分からなかった私ですが、それでも日々少しずつ学び成長しているのを感じています。こうして私たちが弓道に集中して取り組めるのも OB・OG の皆様のおかげです。よく弓道は一生物の競技と言いますが、これから先も精一杯精進し、弓道から学べる限り学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

松本萌弥(医学科 1 年)



↑8月 西医体



↑8月 西看大



↑9月 幹部交代コンパ

OB・OG の皆様、平素より格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。今年度は、団体メンバーとして多くの試合に参加させていただき、現役生最高学年としての中面・精神面ともに引っ張っていかねばいけないと思ひ精進してまいりました。その中で先輩、同輩、後輩に助けられる場面が多く、弓道部のつながりの素晴らしさを再確認する一年となりました。部員一同努力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願ひいたします。

小川結衣(医学科 4 年)

試合結果 (2018.10~2019.9)

東海医歯薬学生弓道大会 (2018. 11. 24~25)

【団体戦】

男子団体 準優勝

女子団体 B 準優勝

【男子個人戦】

山口真央 (医学科 1 年) 優勝

兵藤杜希哉 (医学科 4 年) 第 4 位

【女子個人戦】

小川結衣 (医学科 3 年) 第 3 位



↑ 静岡県下学生弓道選手権春季大会の様子



↑ 東海医歯薬学生弓道大会の様子

静岡県下学生弓道選手権春季大会 (2019. 3. 2)

【団体戦】

女子団体 A 準優勝

【男子個人戦】

栗田幸太郎 (医学科 1 年) 優勝

【女子個人戦】

渡邊萌 (医学科 4 年) 第 4 位

中部ブロック医科学生弓道大会 (2019.6. 8~9)

【団体戦】

女子団体 A 準優勝

【男子個人戦】

兵藤杜希哉 (医学科 5 年) 第 3 位

山口真央 (医学科 2 年) 第 5 位

栗田幸太郎 (医学科 2 年) 第 6 位

【女子個人戦】

渡邊萌 (医学科 5 年) 第 4 位

鈴木まこ (看護学科 3 年) 第 5 位



↑ 中部ブロック医科学生弓道大会の様子

東海地区国立大学体育大会 (2019. 6.22)

【団体戦】

女子団体 第3位

【女子個人戦】

服部柚子 (医学科 2年) 準優勝



↑ 東海地区国立大学体育大会の様子

静岡県下学生弓道選手権夏季大会 (2019. 7.14)

【団体戦】

男子団体 A 準優勝

女子団体 A 優勝

【男子個人戦】

久松優作 (医学科 3年) 第3位

藤原達矢 (医学科 3年) 第4位

山口真央 (医学科 2年) 第5位



↑ 静岡県下学生弓道選手権夏季大会の様子

西日本医科学生総合体育大会 (2019. 8.15~18)

【団体戦】

男子団体 (120射 61中)

女子団体 (60射 31中) 第3位



↑ 西日本医科学生総合体育大会の様子

西日本看護学生弓道選手権大会 (2019. 8. 14~16)

【団体戦】

団体 A (36射 12中)

団体 B (36射 6中)



↑ 西日本看護学生弓道選手権大会の様子

昇段審査結果 (2018.10~2019.10)

2018 年

10 月 東部地区審査 (富士宮市・富士宮体育館)

参段 金子虎太郎 (看護学科 3 年)

2019 年

3 月 西部地区審査 (浜松市・佐久間瞑想館弓道場)

貳段 菱田昴太郎 (医学科 1 年)

参段 伊賀由梨香 (医学科 2 年)

5 月 中部地区審査 (静岡市・北部体育館)

貳段 日高のぞみ (医学科 4 年)

滝澤知佳 (医学科 3 年)

大澤悠 (医学科 2 年)

10 月 西部地区審査 (浜松市弓道場)

初段 一ノ宮未来 (医学科 1 年)

大河原栞 (医学科 1 年)

小峯望実 (看護学科 1 年)

鈴木芽依 (看護学科 1 年)

高林直也 (医学科 1 年)

千頭和京太 (医学科 1 年)

寺本ゆみ子 (医学科 1 年)

永田絢子 (医学科 1 年)

松浦将 (医学科 1 年)

松本萌弥 (医学科 1 年)

貳段 小俣尚輝 (医学科 2 年)

杜博文 (医学科 2 年)

参段 本堂一輝 (医学科 2 年)



↑ 西部地区審査の様子

学年はすべて当時のものを記載しております。

メールの配信方式変更に関しまして

現在、OB・OGの皆様との連絡に使用しております「freeml by GMO」が12月2日をもってサービス終了となります。そのため、今後はメールを配信するにあたり、BCCを用いた一斉送信を利用したいと考えております。hamaikyudoobog@gmail.comより配信いたしますので、迷惑メールとして認識されないよう、設定のご確認をお願い申し上げます。また、配信したメールが重複して送信されてしまう可能性がありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

11月12日に、上記のアドレスからテストメールを送信させていただきました。お忙しい中恐縮ですが、ご確認の程よろしくようお願いいたします。テストメールが届いていない方がいらっしゃいましたら、お手数ですが、下記の連絡先まで、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

OBOG 係長 藤原達矢 hamaikyudoobog@gmail.com

第 5 回 OBOG 総会のお知らせ

第 4 回 OBOG 総会では、多くの OB・OG の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回の第 5 回 OBOG 総会は、2020 年 2 月 22 日に開催いたします。前回同様、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。詳細は決まり次第ご連絡いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OBOG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告について記載した報告書も同封いたしました。多くのご支援、深く感謝いたします。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 編集後記

初冬の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

今年は、試合で思うような結果が出ず、苦勞する一年でした。しかし、東海医歯薬や県下での個人優勝をはじめ、とくに下級生の個人戦入賞が際立った年でもありました。また、西医体では、台風の影響で付け矢が中止となり、例年以上の焦りや緊張が感じられました。そのような状況下でも、最後の同中競射まで粘り強く戦い、女子団体第三位という成績を収めることができました。これは偏に、日々鍛錬を続けた団体メンバーや、団体メンバーを支える部員全体の精神力の強さの現れだと感じております。今年の経験を糧に、弓道部の発展に向け今後も部員一同、精進して参ります。

本年度も引き続きご支援ご厚情を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

今回の第五回 OBOG 総会は、皆様への感謝の気持ちを込めて、盛大に開催する予定です。部員と皆様がつながりを感じられる場になるよう、精進してまいります。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

OBOG 係 藤原達矢 滝澤知佳 平田梨紗